

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	自動登録／家庭科教育法b (Teaching Methods: Home Economics b)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	小学校家庭科教育法－教科理解と指導法		
担当者名 (Instructor)	増茂 智子(MASUMO TOMOKO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	EDU3700	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

小学校における家庭科教育の指導に必要な知識と技能を習得し、児童・生徒の生きる力を育む教科「家庭」の魅力を探りながら、授業を創造する力を身につけることを目指す

Students will acquire the necessary knowledge and skills for home economics classes in elementary schools, and aim to become competent in class creation while deepening the appeal of the subject of home economics which develops life skills in pupils and students.

授業の内容(Course Contents)

前半は小学校家庭科教育の目標、内容、指導計画および学習指導案の作成方法、評価等について概説する。関連して児童を取り巻く生活課題に気づき、生きる力を身につけるための家庭科教育の果たす役割や可能性について検討していく。一方小学校家庭科の指導で必要とされる技能面の習得もめざしていく。そのため、後半は可能な限り体験学習(裁縫・ミシン縫いと製作活動、調理実習等)も取り入れ、実習教材の教材研究を深めていく。また同時に模擬授業も多く取り入れながら授業創造力を培っていく予定である。

Students will have an overview of the academic objectives, contents, instruction plan and lesson plan construction, and evaluation, etc., of elementary school home economics classes. Students will become aware of lifestyle issues affecting pupils, and consider their role and the possibilities of home economics education in developing pupils' life skills. Meanwhile, students will aim to acquire the technical aspects necessary for teaching elementary school home economics classes. For that purpose, as much as possible, the class will incorporate learning through experiences (garment making, textiles and cooking, etc.). Students will deepen their material research of practical learning materials, and take part in numerous mock lessons which are planned for the class.

授業計画(Course Schedule)

1. ガイダンス(家庭科を学ぶ意義、授業予定等) 模擬授業のグループ決めも予定
2. 家庭科の目標・内容について(学習指導要領の確認) 他
3. 家庭科の学習指導、教材・教具と指導法、ICTの活用について 他
4. 家庭科の指導計画、学習指導案の作成と評価について 他
5. 領域 A 家族・家庭生活の学習内容と指導の工夫について
領域 C 消費生活・環境の学習内容と指導の工夫について
6. 領域 B 衣食住の生活に関する学習内容と指導の工夫について
7. 衣生活領域 実習教材の検討①(基礎縫いの知識と技能及び指導における留意点)
8. 衣生活領域 実習教材の検討②(生活を豊かにするものの製作)
9. 食生活領域 実習教材の検討①(調理の基礎としての知識と技能及び指導における留意点)
10. 食生活領域 実習教材の検討②(炊飯とみそ汁作りをメインにした1食分献立調理の実習)
11. 授業研究 教材研究をメインにした模擬授業①領域 A 家族・家庭生活、振り返り研究協議
12. 授業研究 教材研究をメインにした模擬授業②領域 B 衣食住の生活、振り返り研究協議
13. 授業研究 教材研究をメインにした模擬授業③領域 C 消費生活・環境、振り返り研究協議
14. 学習のまとめと確認－(導入の工夫に注目した個人模擬授業の発表と交流) 他

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

模擬授業に向けた教材研究、学習指導案の作成及び教材教具の準備はグループの場合と個人の場合の2つのタイプを実施するが、それぞれにおいてしっかり取り組んでほしい。

また実習授業に向けて、衣生活領域の作品製作のための計画と授業内で完成できなかった場合の授業時間外での補習。さらに食生活領域の調理実習のための計画/献立作成と材料の調達(買い物学習)等。授業時間内ではカバーできないため、授業時間外学習にも積極的に取り組んでほしい。

成績評価方法・基準(Evaluation)

学習指導案の作成と模擬授業・発表(35%) / 実習教材への取り組みと提出物(作品・小レポート等)(35%) / 授業内確認小テスト(30%)

テキスト(Textbooks)

1. 文部科学省、2018、『小学校学習指導要領解説家庭編』、東洋館出版社 (ISBN:9784491034669)

参考文献(Readings)

1. 池崎喜美恵編著、2020、『小学校指導法 家庭』、玉川大学出版部 (ISBN:9784472405815)
 2. 浜島京子他著、2020、『新しい家庭 5・6』、東京書籍出版
 3. 鳴海多恵子、2020、『わたしたちの家庭科 小学校 5・6』、開隆堂出版
 4. 生活の学びの研究会、2021、『生活からはじめる教育 コロナ禍が教えてくれたこと』、開隆堂出版 (ISBN:9784304021848)
- 小学校家庭科教科書は2社から発行されている。購入可能であればこれら小学校の教科書も入手しておくとい。また、家庭科指導法や教育法全体を通し、よりどころとなる書籍があると予習復習の際にも参考になる。その他の文献は授業時に紹介したいと考えている

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)